

SDGs達成に向けた取組進捗状況報告書

宣 言 日 令和 3 年2 月26 日
 住 所 埼玉県草加市学園町1-1
 県内企業等の名称 獨協大学
 代表者役職 氏名 学長 山路朝彦

獨協大学 はSDGs達成に向けた重点的な取組について、
 下記の通り進捗状況を報告します。

記

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	進捗状況
環境	<取組内容> “CO2排出量削減” 埼玉県地球温暖化対策として、基準排出量(※)から2011~14年度は8%削減、15~19年度は15%削減を達成。20~24年度は22%削減を目指し取り組んでいる。(※04~06年度の平均) <(現状値)2021年度の数値> 35.9%減(2021年度単独) 45.3%減(第三計画期間平均)	<1年経過時> CO2排出量 35.9%減(2021年度単独) 45.3%減(第三計画期間平均)
	<2030年に向けた指標> CO2排出量 26%減	<2年経過時> CO2排出量 31.3%減(2022年度単独) 40.7%減(第三計画期間平均)
	<取組開始3年後に向けた指標> CO2排出量 22%減	<3年経過時> 31.3%減(2023年度単独) 38.3%減(第三計画期間平均)
	<取組内容> “SDGs人材の輩出を目指し、指標1・4・16・17に関連する科目を中心に、科目数増を目指す” 2020年度は1008科目。 <(現状値)2021年度の数値> 1484科目	<1年経過時> 1484 科目
	<2030年に向けた指標> 1800科目	<2年経過時> 1729科目
	<取組開始3年後に向けた指標> 1200科目	<3年経過時> 1712科目
経済	<取組内容> “ダイバーシティ&インクルージョンの推進と女性の活躍推進” 2020年度の本学事務職の課長補佐以上の役職者に占める女性割合は20.5%となっている。 <(現状値)2021年度の数値> 27.5%	<1年経過時> 事務職の課長補佐以上の役職者に占める女性割合を27.5%以上を達成
	<2030年に向けた指標> 事務職の課長補佐以上の役職者に占める女性割合を30%以上	<2年経過時> 事務職の課長補佐以上の役職者に占める女性割合が30.95%となり、指標の30%以上を達成
	<取組開始3年後に向けた指標> 事務職の課長補佐以上の役職者に占める女性割合を25%以上	<3年経過時> 事務職の課長補佐以上の役職者に占める女性割合が28.3%となり、指標の27.5%以上を達成